

二十歳の誓い

私は高校の卒業式で答辞を読んだのですが、先生が作った原稿を読むことになり不完全燃焼でしたのでこの「二十歳の誓い」に応募しました。これまでを振り返り、将来に向けての誓いをするので、新たな自分をスタートしたいと思っています。

幼稚園の頃から活発に動き、家族に言いたいことを言う私の態度を見た友達から「お前はずっと反抗期やな」と言われていました。でも、家で思ったことを言える環境が友達作りには大いに役立ってきたと思います。

仲間同士のトラブルによって生じる不穏な空気が大嫌いで、自分に関係がなくても見て見ぬフリが出来ず、解決できる方法を考えたり、とにかく仲間と一緒にいる時間が多く、仲間同士の間でも言いたいことを言ってきました。

でも最近、人の心はそう簡単に分るものではないと思い始めています。言いたいことを言い過ぎて女の子を泣かせてしまったり、ソリが合わないからと攻撃する人を見て、「そんなことしても何も生まへんし関わらへんかったらええのに」と思います。味噌汁の味の違い一つでも家ではついつい喧嘩してしまうなど、私に相手の欠点を受け入れるほどの器がなく、このままでは将来の結婚生活もうまくいかないんじゃないかと思っていました。

今までの生き方こそが自分だと思っていましたが、自分からしか見えていない生き方であり、自分の価値観を人に押しつけていたのかもしれない。人には人の価値観があるということを一ひたりが理解すればトラブルは減るんじゃないかと思います。

私は今、教師を目指して勉強しています。今までに好きな先生はいましたが、残念なことに先生として尊敬できる人に出会えませんでした。教師という職業はまさに人と人との関わりが大切な仕事です。子どもたちには、心の中にあるわだかまりの原因を自分で見つけ、理解し、「解決できる力」をつけてもらいたい。そして、私も子どもたちと共に成長していくために、本当に言いたいことを確実にまとめて「伝える力」をつけていきたいです。

「生きがいをもって全力で人生を楽しむ」これからの目標です。「楽しさ」とは人との関わりの中で一番感じます。改めて考えると、私は「人」が大好きです。多くの仲間や両親、周りの人たちのお陰でそんな自分がここに居ることに感謝しています。これからもトラブルを恐れず人との関わりを楽しみ、いろいろな考えや生き方を学びながら「生きがいのある人生」を目指していくことを「二十歳の誓い」とします。

平成 28 年 1 月 11 日 新成人代表 槇本 航